

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

音 楽		教育出版
総 評		<p>全体的に新しい教材を取り入れ、児童が興味・関心を持って学習に取り組む工夫がなされている。また、英語の歌をはじめ国際色豊かに教材が配列され、教科横断的なカリキュラムを可能にしている。</p> <p>全てのページにおいて、共通事項が的確にわかりやすく配置され、学習において大切なことがわかり、児童が主体的に取り組めるようになっている。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「音楽のもと」「音楽を表す言葉」の例が数多く紹介されている。④（3年 P.9、1年～6年巻末、4年 P.12、5年 P.12、6年 P.12 など）</li> <li>○ 各ページの題材名でキーワードになる言葉が色刷りにしてある。③（3年 P.9、1年～6年巻末、4年 P.12、5年 P.12、6年 P.12 など）</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びにつながる「音楽づくり」の教材を「音のスケッチ」として全学年を通して系統的に構築されており、この活動を通して音楽的感覚を育てることができる。③（5年 P.26 など）</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各ページで「音楽のもと」として教科書上部に共通事項が示されていて、児童が主体的に意識的に学習に取り組むことができるように配慮されている。⑥（1年 P.17、P.19 など）</li> <li>○ 歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の一体化が図れるように配慮されている。特に音楽づくりの活動との関連性が優れている。②（全ページ）</li> <li>○ 歌唱教材の取扱いが明確である。「学び合う音楽」という項目があるため、どのように学習すればよいかのわかりやすい。③（5年 P.11、6年 P.12、P.23）</li> <li>○ 「楽器図鑑」など、楽器の奏法や指使いの番号がわかりやすく示されている。また、学びリンクとも関連させており、動画も確認しながら取り組めるように配慮されている。児童が必要な技能を身につけられるように配慮されている。③（1年巻末、2年巻末、）</li> <li>○ 震災復興を意識した内容、楽曲がある。①（6年 P.60、P.61）</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表紙をはじめ、絵が全体的にカラフルで、児童が親しみをもって学習に取り組むことができる。③④（2年 P.34、P.35 など）</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ショートタイムラーニングという英語の歌や九九の歌を楽しく学習できるように設定しており、教科横断的に指導が可能である。①（1年 P.60、2年 P.60、P.61、3年 P.62、4年 P.62、5年 P.62、6年 P.50）</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントなどの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮している。④（各学年各ページ題材名）</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末に豊富な資料や読み物教材が示されている。②（各学年）</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌唱において学びを深めていくための深い学びの実現や思考判断の取扱いが少し弱い面が見られる。③④</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表現の学年構成において、系統立てをよりはっきりと示した方がよい。⑥</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きページ全面に写真があり、見やすく美しい反面、譜面とは別ページになっているため、見づらく残念である。①（3年 P.40～43 など）</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特になし</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽典指導・オーケストラの指導のための付録資料がより有効に活用されるために工夫されるとよい。（3年 P.9、5年 P.30、P.31）</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

音 楽		教育芸術社
総 評		全体構成において、教材と各領域の関連性や系統性が分かりやすく示され、発達段階に応じた学習指導が出来る工夫がなされている。また、図形楽譜や音階、楽器の奏法など分かりやすく工夫された配慮が多く見られる。我が国の伝統音楽が多数扱われ、児童にとってわかりやすく示されている。
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 目次から、題材構成としての各教材と学習活動との関連が判別しやすい。②（各学年目次）
	2 内容の取扱い	○ 新しく学ぶ楽器が登場した際、楽器の奏法や指使いの番号が分かりやすく示されているため、児童が必要な技能を身につけられるように配慮されている。③（1年P.15、P.25、P.50、P.57） ○ 随所に音階が示されていて、正しく音階を身につけながら表現できるように配慮されている。③（1年P.39など） ○ 日本古来の伝統的な音楽が豊富に扱われている。⑤（4年P.56～P.61など） ○ 新しく学ぶ音符や記号が児童にとってわかりやすく示されている。②（3年P.9など） ○ 図形譜が大きく示されていて、楽曲の構成が理解しやすくなっている。②（3年P.50、P.51など） ○ 震災復興を意識した内容、楽曲がある。①（6年P.68など）
	3 外的要素	○ 文字が大きく、見やすい。（全学年全ページ）
	4 構成・配列	○ 各学年随所に二次元コードが示されていて、器楽・歌唱・鑑賞指導に関連する動画を使用して授業に取り組める。①②（1年P.11、2年P.7、3年P.9、4年P.9、5年P.15、6年P.13など）
	5 資料・その他	○ 各学年とも巻末に「ふりかえりのページ」を設け、分かりやすく、コンパクトに学習した内容がまとめられている。①（各学年巻末） ○ 巻末に音楽の歴史をつくった人という紹介があり、作曲者の資料が豊富である。②（各学年巻末）
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 主体的・対話的に学習できる「音楽づくり」の教材において、全学年を通してより系統的で効果的に学習できるための配慮を要す。③④
	2 内容の取扱い	○ 各学年随所にミュークン・ジックくんを提示しているが、学習を深めていく関連性に乏しい。②（1年P.11、2年P.7、3年P.9、4年P.9、5年P.15、6年P.13など） ○ 低・中学年において巻末の楽典やリコーダーの運指の資料の掲載量が必要以上に多く、効果的ではない。③
	3 外的要素	○ 表紙の絵柄が学年ごとの変化に乏しい。①（各学年表紙）
	4 構成・配列	○ グローバル社会の観点から取扱っている楽曲の国や地域が少ない。②
	5 資料・その他	○ 特になし